

入野小学校 校長室だより

2014.5.16(金) No.6 文責：芝

共有した時間・思い出…

日曜日(5/11)から3日間、6年生は修学旅行に行ってきました。松山からフェリーで呉に渡り、「広島→岡山→(瀬戸大橋)→香川」とまわって帰校するコースです。6年生担任は子どもたちに対し、修学旅行の意義も含めて訪問場所に応じたテーマを設けていたようです。私も「この修学旅行を通して仲間としてのつながりを強くしてほしい」と願い、それを出発式で話したことでした。

旅行中は、文字通り寝食を共にし、常にみんなの姿や気配を感じながらの3日間。言葉では言い表せないものも得たことでしょう。何より貴重な時間を共有した経験は一生の思い出です。大切にしてほしいと思います。

では、旅行中の子どもたちの様子をいくつかレポートします。

子どもたちの「食に対する頑張り」は特筆すべきことでした。まずフェリーで出たお弁当を『全員完食』。私も何回も修学旅行を引率しましたが初めての経験です。「食事が取れないなら、おやつはダメ」という青屋先生の指導があったにせよ、みんなが真摯に食に向き合う姿が旅行中続き、ただただ感心したことでした。最終日のレオマの昼食以外是一緒に



食べましたが、『ほとんどで残食ゼロ』。残した時も『これは物理的に無理』と認められます。そんな子どもたちの頑張りが見える一言、「ウインナがトラウマになりそう。」

ご飯をおかわりしすぎて、おかわりに苦労していた人の言葉。「ウインナに苦労したのは初めて」とも言っていましたが、最後には見事に胃に収めました。



ガイドの下西さんは名調子。子どもたちの反応も、だんだん「掛け合い」のようになっていきました。

「日本で一番長い川は？」

「天の川！」

これはナイスです。

平和記念公園での一コマ。裏話ですが、ここから少し移動したところに蚊の大群が…。私たちが大宴会をしようと思ってきました。

屋外での1時間半の学習を経て資料館へ移動しましたが、資料館に入ってから大雨に。何て運のいいこと。更にこの雨は、翌日のレオマの時にはすっかりあがっていました。



